

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
 平成 28 年度第 1 回調査・研究部運営会議 通算第 2 回調査・研究部会議
 議事録

| | | | | | |
|-------------|----------------------------------|---|-------|----------------|---|
| 日時 | 平成 28 年 10 月 6 日 (木) 14:00~17:40 | | 場所 | 地盤工学会地階 A 会議室 | |
| 部長 | 山下 聡 (北見工業大学) | ○ | ★理事 | 西村 伸一 (岡山大学) | ○ |
| 幹事長 | 松下 英次 (長野高専) | ○ | 副幹事長 | 大竹 雄 (新潟大学) | ○ |
| 研究・連携・情報委員会 | | | 幹事 | 中澤 博志 (防災科研) | ○ |
| ワグ幹事 | 三上 武子 (前田建設工業) | × | 部員 | 鈴木 亮彦 (不動テトラ) | ○ |
| 研究発表会委員会 | | | 幹事 | 伊藤 和也 (東京都市大学) | ○ |
| ワグ幹事 | 今 広人 (ジャパンパイル) | ○ | ★ワグ幹事 | 肥後 陽介 (京都大学) | ○ |

(★新任；○出席；×欠席；△未定；☆電子会議)

配 付 資 料

| 資料番号 | 資 料 |
|--------------|---|
| 運営資料-28-1.0 | 平成 28 年度 第 1 回 調査・研究部会議事録 (案) (H28/8/9 開催) |
| 運営資料-28-1.1 | 理事会 (9/29) 開催報告資料 |
| 運営資料-28-1.2 | 平成 29 年度事業方針・計画(案)、予算(案)作成のお願い |
| 運営資料-28-1.3 | 調査・研究部規定類 |
| 運営資料-28-1.4 | 第 19 回事業企画賞候補案および審査員の選出依頼 |
| 運営資料-28-1.5 | 平成 28 年度本部支部連絡協議会議事録 |
| 運営資料-28-1.6 | 平成 28 年度学会賞候補推薦のお願い |
| 運営資料-28-1.7 | 地盤工学会 HP リニューアルについて |
| 運営資料-28-1.8 | 平成 28 年度新設研究委員会テーマ案募集 |
| 運営資料-28-1.9 | 「断層問題に関する理工学合同委員会」経緯と出版 |
| 運営資料-28-1.10 | 「南鳥島周辺海域における海底地下空間利用のための調査研究検討委員会」設立趣意書 |
| 運営資料-28-1.11 | 「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会 (略称：廃炉地盤工学委員会)」予算執行報告依頼 |
| 運営資料-28-1.12 | 学会電子化関連報告資料 |
| 運営資料-28-1.13 | 第 52 回地盤工学研究発表会 DS 申込状況 |
| 運営資料-28-1.14 | 第 51 回地盤工学研究発表会参加者数 (暫定) |
| 運営資料-28-1.15 | 第 51 回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞授賞候補者リスト |
| 運営資料-28-1.16 | 地盤工学研究発表会に関する、本部から各支部への事前依頼事項 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 別添資料-1 | |

I. 前回 (H28/8/9 開催) 調査・研究部会議事録の確認

(運営資料-28-1.0, pp.1-6)

各自確認することとなった。(メール審議済み)

II. 理事会 (H28/9/29) 開催報告

(運営資料-28-1.1, pp.7-13)

調査研究部に関連する主な審議事項が紹介された。

◆地盤工学研究発表会に関する本部から支部への事前依頼事項について

- ・参加料の値上げの可否について

参加料の値上げの可否について意見交換がなされ、「参加料については、本部に事前に相談・調整を行い、変更に当たっては理事会で審議する」という文言に修正することになった。

- ・開催時期について

7月開催については、それほど強い制約はない印象を受けた。

- ・各支部の担当者の運営会議の参加について

年1回の部会のみでの参加だと情報の伝達に問題が生じる可能性がある。各支部の担当者には、オブザーバーとして運営会議に参加してもらうこととする。Web会議での参加を基本とするが、審議事項がある場合には直接参加することとする。

◆環境地盤工学シンポジウム

- ・調査研究部案が了承された。

◆廃炉地盤工学委員会について

- ・広報を学会以外にも案内することを計画している。

◆調査研究部規定の変更について

- ・未修正部分が散見されたため、一度取り下げて、次回の書面会議で再提出することとする。
- ・「全国大会」は、正式名称ではないのではないので、名称変更の必要がある。

◆断層問題に関する理工学合同委員会

- ・他学会との合同委員会のルールについて、今後総務部で見直しを検討することとなった。

III. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 平成29年度予算および事業計画案

(運営資料-28-1.2, pp.14-24)

- ・昨年度の文章における下記の点を修正する必要がある。

ー地盤工学シンポジウム, 電子図書関連部分

ー委員会主催活動成果報告会は開催されるのか? (地盤工学シンポジウムに集約される?)

⇒今年度は開催されないが、次年度以降実施する可能性があるため、文章としては残す。

- ・修正文案を松下先生が作成し、メール審議を行うこととする。

- ・予算(案)については、事務局案を採用するが、H28年からの変更理由については、「予算のポイント」として文章で作成することとする。

2. 調査・研究部 規定類の変更

(運営資料-28-1.3, pp.25-41)

- ・主な変更対応事項は以下の通りであるが、全体を見直した上で文章を修正し、メール審議することとする。

ー全国大会委員会 ⇒ 研究発表会委員会 に名称変更する。

ーP26 第2章の冒頭部分に、新しい部門名称について記述する。

ーP28 支部委員の任期については、「開催1年前から開催年の2年間」とする。

ーP30 タイトル変更 ⇒研究連携情報委員会運営細則

ーP40 (図書の保管) 調査研究部が補間する図書について、図書カードに記入した上で閲覧を許可しているが、現状、図書カードは使用していない。

⇒新しい図書については、データベースがあるので、調査研究部としては、その「データベースを図書カードとして読み替えている」と解釈することとする。

3. 第19回事業企画賞候補案および審査員の選出

(運営資料-28-1.4, pp.42-47)

- ・事業企画賞(第19回)の候補案については該当なしとする。
- ・事業企画賞(第19回)の審査員は、大竹が担当する。

4. 本部支部連絡協議会（H28/9/13）からの検討依頼事項

（運営資料-28-1.5, pp.48-51）

本部支部連絡協議会からの主な検討依頼事項が議論された。

◆P50, 電子図書室の請求の統一化について

- ・電子図書室の請求が学会費と別立てになっており支払いが面倒である。学会費と統一できないか？
一国際会員費と同額のため、事務局で仕分けするのが困難な状況にある。現状、早急な対応は難しいが、電子図書室の金額を変更するなど改善に向けて検討する。

◆研究発表会における発表者賞の2年連続受賞の制限（現行）の撤廃（案）について

- ・これまでの議論、意見収集の結果、「現状維持」、「40歳まで上限を引き上げて撤廃する」の2択ではないかという感触を得ている。（研究発表会委員会）
- ・40歳までと年齢上限を上げるのであれば、受賞辞退の欄を加えるなどを検討するべきである。
- ・現状維持とする意見が最も多いこと、多くの方に受賞できる機会を与えることができること、を考慮して現状維持の方向で進めることとする。

◆研究発表会において親族の同伴について

- ・研究発表会委員会及び中部支部からの意見は否定的なものが多い。
 - 一支部の作業が煩雑になるのではないか。
 - 一学会の雰囲気が変わる（カメラ、ビデオの撮影など）ことから望ましくない。
 - 一この制度を利用して、不正（親族を装って参加）が生じる可能性がある。
- ・（公社）日本地球惑星科学連合では、当日の対応として親族の同伴を認めている。
（地球惑星 1,000円（一日）、2,000円（フル）※当日の対応）
- ・本件については、継続審議とし、大きな負担にならないような体制が整うのであれば、名古屋大会から実施する。

[報告事項]

5. 平成28年度地盤工学会賞 候補ご推薦のお願い

（運営資料-28-1-6, pp.52-55）

- ・推薦なしとする。

6. 調査・研究部ホームページの更新

（運営資料-28-1-7, p.56）

- ・現状のコンテンツのまま更新することとする。

IV. 研究・連携・情報委員会関係

[審議事項]

1. 平成29年度新設研究委員会テーマ案公募（学会誌11・12月合併号会告掲載）

（運営資料-28-1-8, p.57）

- ・本年度のスケジュールは、下記の通りとする。
 - 一10月15日までに公募原稿作成
 - 一12月27日公募締切り
 - 一1月に採択審議（2月中に採否連絡）
- ・公募書類について、（委員長候補は必須ではありません）の文章を削除する。

[報告事項]

2. 「社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会」委員の追加（メール審議済み）

- ・鵜田 稔 氏（株式会社 アイコ）
- ・了承された。（メール審議済み）

3. 「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会（略称：廃炉地盤工学委員会）」委員の追加（メール審議済み）

- ・長江 泰史 氏（テルナイト）
- ・渡邊 康司 氏（大林組）
- ・了承された。（メール審議済み）

4. 「横浜環状北線地盤変動監視委員会」委員の交代（メール審議済み）

山元 弘 委員（土木研究所 技術推進本部長）から 田村 敬一 氏（同左）

・了承された。(メール審議済み)

5. 「断層問題に関する理工学合同委員会」経緯と出版 (運営資料-28-1-9, pp.58-61)

・他学会との合同委員会のルールについては、今後総務部で見直しを検討することになった。(理事会報告参照)

6. 「南鳥島周辺海域における海底地下空間利用のための調査研究検討委員会」設立 (運営資料-28-1-10, pp.62-67)

・9月理事会で設立が承認され、正式に調査研究部の所管となった。

7. 「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会(略称:廃炉地盤工学委員会)」予算執行報告依頼 (運営資料-28-1-11, p.68)

・総務部より、予算の執行に当たり、半期毎に総務部へ報告を行うことを徹底するように指示があった。

8. 学会電子化WG報告 (運営資料-28-1.12, pp.69-80)

・今回のリニューアルにより、学会誌、ショッピングカートなどと統合したシステムになることから、今後は総務部の管理となる。

・キャルステーション(リニューアル担当会社)との契約に際しては、仕様書を作成した上で契約することとする。

・電子図書室のレイアウトについて、良案があれば提案することとする。(継続的に提案を受付けている)

V. 全国大会委員会関係

[審議事項]

1. 第52回地盤工学研究発表会

1) DSの運営

(運営資料-28-1-13, p.81)

・16件の応募があったことが報告された。

・件数の調整、一般セッションへの移動など、今後調整する。

2) 展望

・学会長に基調講演を依頼することとする。

・西村先生に事前に内諾を得ることができるか、連絡をしていただく。

[報告事項]

1. 第51回地盤工学研究発表会

1) 参加者数報告(暫定)

(運営資料-28-1-14, p.82)

・参加者数について報告があった。

2) 優秀論文発表者賞授賞候補者(メール審議済み)

(運営資料-28-1-15, p.83-86)

・受賞候補者のリストが提示され、了承された。(メール審議済み)

2. 支部への事前依頼事項

(運営資料-28-1-16, p.87)

・理事会の開催報告の通り。(理事会報告参照)

VII. その他

1. 理事会(平成28年10月28日(金))開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項] なし

[審議事項]調査・研究部 規定類の変更

[報告事項]調査・研究部 規定類の変更、平成29年度新設研究委員会テーマ案公募

2. 総務部会(平成28年10月14日(金)開催予定)への提案事項

・なし

3. 次回以降の部会・運営会議開催日

・開催の必要がある場合は、1月頃、日程調整することとした。

★ 平成28年度 理事会 開催日程（予定含む）

① 4月20日（水） ※書面審議

② 5月17日（火）

★ 6月8日（水） 総会/理事会

③ 6月15日（水） ※書面審議

④ 7月28日（木）

⑤ 9月29日（木）

⑥ 10月28日（金） ※書面審議

⑦ 11月25日（金）

⑧ 12月22日（木） ※書面審議

⑨ 1月27日（金）

⑩ 2月24日（金） ※書面審議

⑪ 3月17日（火）

⑫ 4月21日（金） ※書面審議

⑬ 5月19日（金）

★ 6月9日（金） 総会/理事会